

国道201号 八木山バイパス【直轄】

- 国道201号八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ国道201号の2車線区間を4車線化することにより、交通ボトルネックを解消し、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、対面通行区間を解消し、安全・安心の確保を目的とする4車線拡幅事業。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上部工工事を実施することで、筑穂IC～穂波東IC間の令和11年度の開通を確実にし、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県糟屋郡篠栗町篠栗
～飯塚市弁分

延長：13.3km
全体事業費：465億円
R7補正：4.1億円(事業費)
※有料道路事業と公共事業の組み合わせによる整備方式

《整備効果》

○当該道路の整備により、片側2車線の信頼性の高いネットワークが構築され、積雪時や交通事故による交通規制リスクを軽減

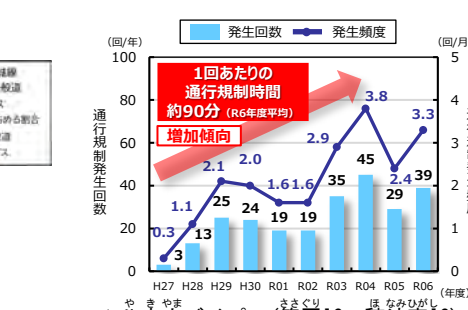
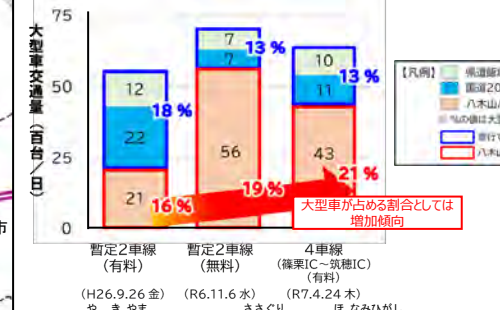
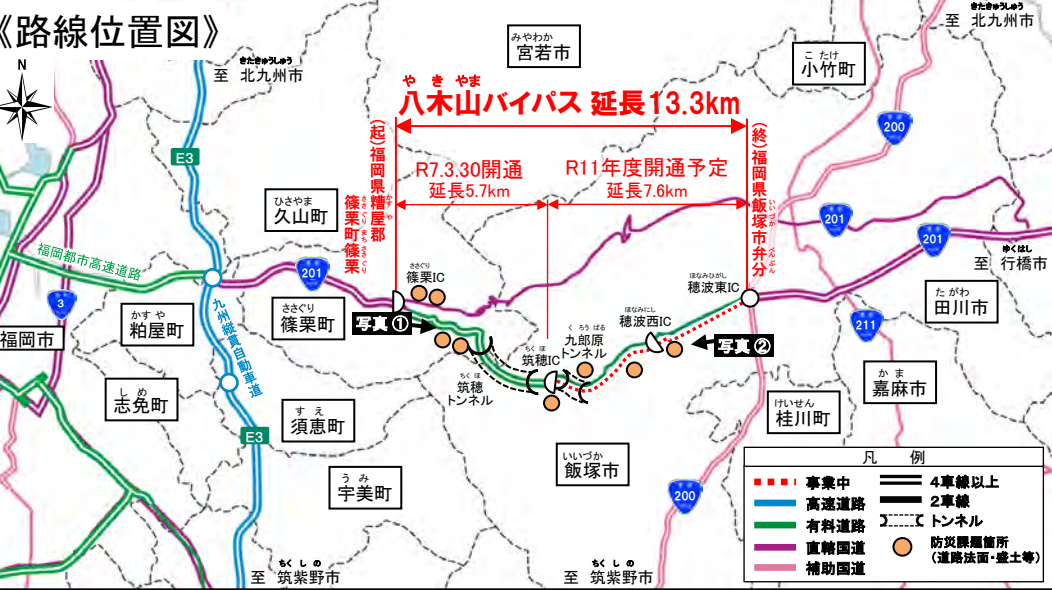
【写真①】スタック車両の発生状況



【写真②】正面衝突事故の発生状況



《路線位置図》



▲八木山バイパス(篠栗IC～穂波東IC)の大型車交通量

資料：一般交通量調査(H26～R6)、R7.4有料時は料金収受データ

▲八木山バイパス(篠栗IC～穂波東IC)の正面衝突交通事故発生割合

資料：交通事故統合データベース(R2～R5)

国道497号 今宿道路【直轄】

- 国道497号今宿道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、周辺地域の交通混雑の解消を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

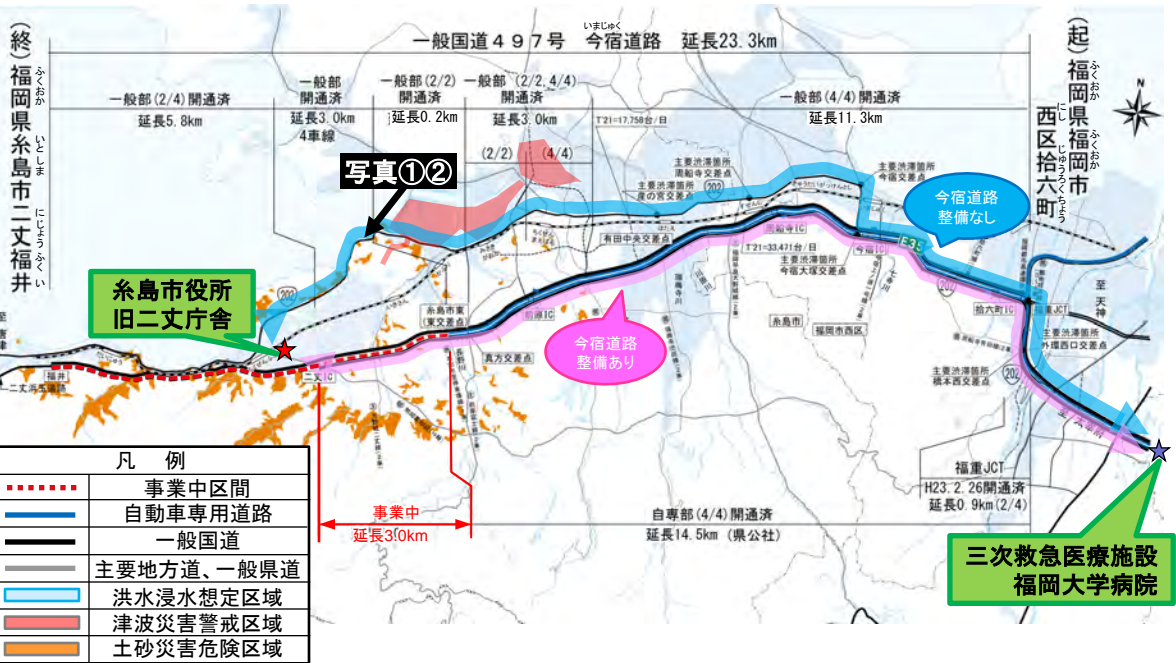
事業区間：福岡県福岡市西区拾六町
～糸島市二丈福井

延長：23.3km

全体事業費：2,791億円

R7補正：13.9億円(事業費)

《路線位置図》



《整備効果》

- 当該道路の整備により、一般道に災害があった場合でも、強靱で信頼性の高いネットワークを構築

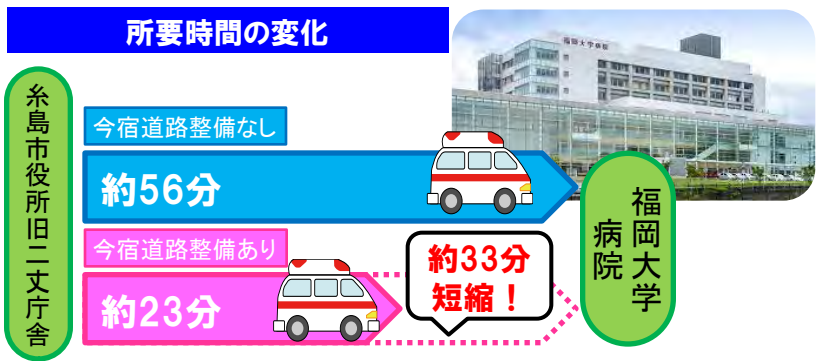


▲H22.7.13 道路冠水
(糸島市加布里地区)



▲H22.7.13 法面崩壊
(糸島市二丈浜窪地区)

- 当該道路の整備により、三次救急医療施設への搬送時間の短縮(約56分⇒約23分)が図られ、定時性の向上により安定的な搬送を確保。



※令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)を基に、糸島市役所旧二丈庁舎から最寄りの三次救急医療施設にて算出

福岡209号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に高田小学校及び高田中学校が立地し、児童・生徒の通学路として利用されているが、歩道が片側しか整備されておらず、歩行者等の安全な通行が確保されていない状況。
- 本事業は、歩道の新設を行うことにより児童や歩行者の安全・安心な歩行空間の確保を行う事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、今福歩道整備の改良工事を実施することで合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

○国道209号 今福歩道整備

《位置図》



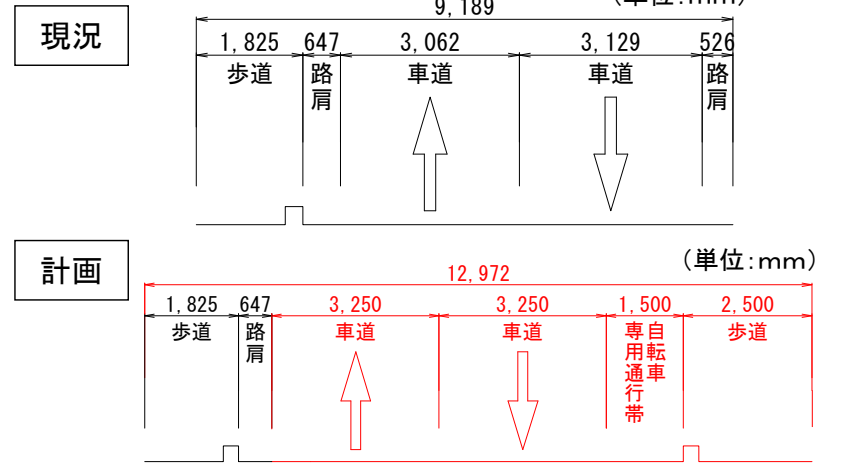
《諸元等》

事業区間：福岡県みやま市高田町今福
延長：0.5km
R7補正：2.0億円

《平面図》



《計画横断図》



《現地状況写真》



福岡3号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所は無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道3号 吉塚・榎田地区電線共同溝

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県福岡市博多区吉塚8丁目
～福岡市博多区榎田1丁目

延長：2.6km
全体事業費：37億円
R7補正：2.7億円

《路線位置図》



《現地状況写真》



《整備効果》

- 災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。
- 歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



福岡 維持管理(省エネ・再エネ活用(LED化))【直轄】

- 福岡国道事務所は、一般国道3号、201号、202号、208号、209号、210号の6路線、管理延長約300kmの維持管理を実施。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道路の脱炭素化及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、補正予算の充当により、福岡国道事務所管内に設置している道路照明において、道路照明のLED化により、道路施設の省エネルギー化を推進。

《位置図》 福岡国道事務所管内



《現地状況写真》



《諸元等》

事業区間 : 福岡国道事務所管内
延 長 : 約300km
R7補正 : 1.18億円(事業費)

《対策イメージ》

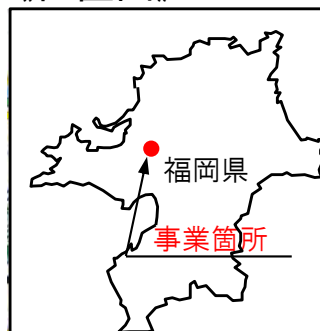


(主)筑紫野古賀線(須恵工区)【補助】

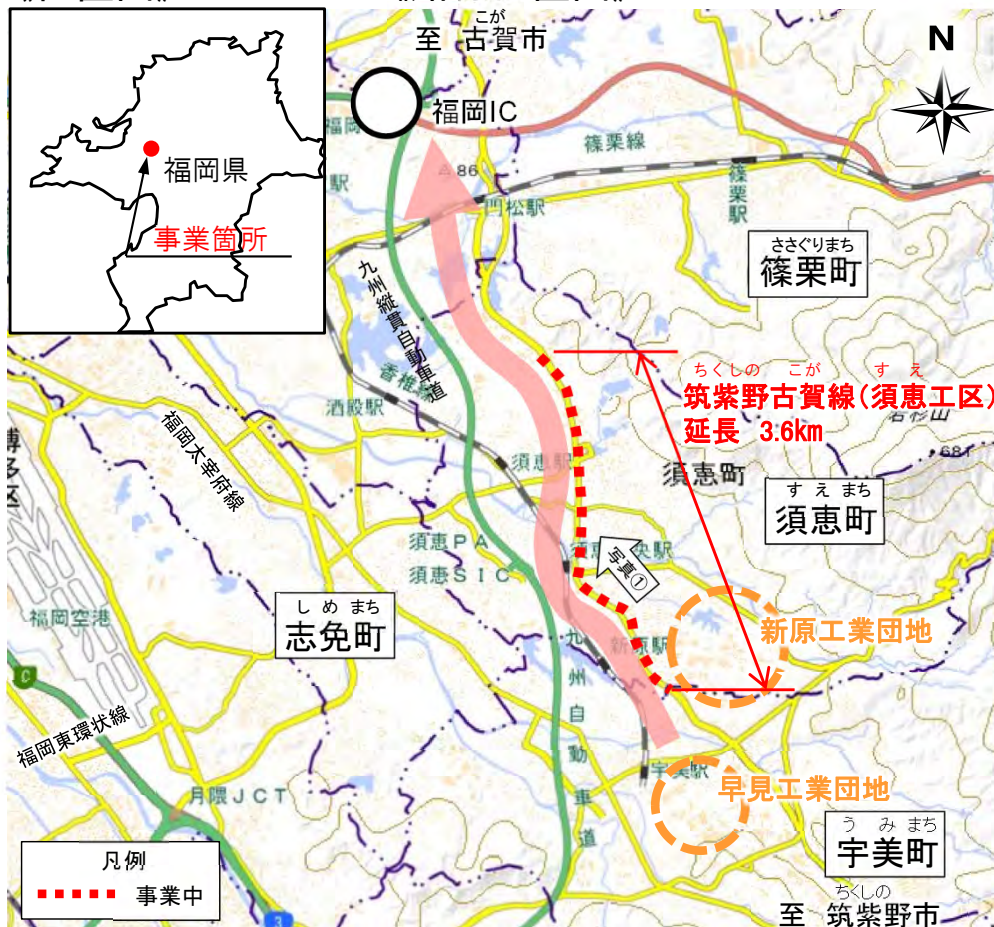
道路-6

- 主要地方道筑紫野古賀線は、新原工業団地等(物流倉庫・建設資材関連製品等)から九州縦貫自動車道福岡ICへのアクセス強化等を目的とする道路。当該箇所を4車線化することにより、慢性的な交通混雑を解消し、重要物流道路としての機能を強化することで、物流ネットワークの確保を目的とする事業。
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与し、日本経済の成長につながる道路の整備を推進。

《位置図》



《路線位置図》



《諸元等》

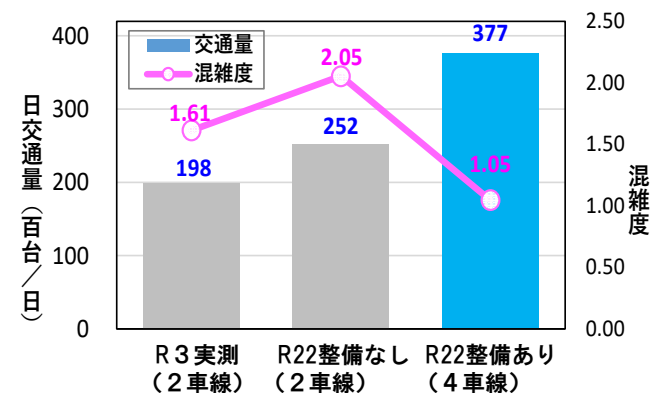
- 事業区間：福岡県糟屋郡 須恵町新原～植木
- 延長：3.6km
- 全体事業費：90.0億円
- R7補正：1.1億円(事業費)

《現地状況写真》



《整備効果》

- 新原工業団地をはじめとする周辺の工業団地から九州縦貫自動車道へのアクセスが強化(渋滞解消等)されることで、輸送コストの縮減や物流の効率化が図られ、地域経済の活性化や産業振興が期待される。



国道208号 大川佐賀道路【直轄】

- 国道208号大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事、橋梁床版工事を実施することで、諸富IC～(仮称)川副IC間の令和8年度の開通を確実にし、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。



《諸元等》

事業区間：福岡県大川市大野島～佐賀県佐賀市嘉瀬町

延長：9.0km

全体事業費：986億円

R7補正：9.5億円(事業費)

(うち福岡県0.0億円、佐賀県9.5億円)

《整備効果》

○当該道路の整備により、浸水時の避難経路や災害時の人命救助活動・物資の輸送を行うための緊急輸送道路としての機能を期待

＜浸水状況写真：令和元年8月豪雨＞



写真① 佐賀駅バスセンター前

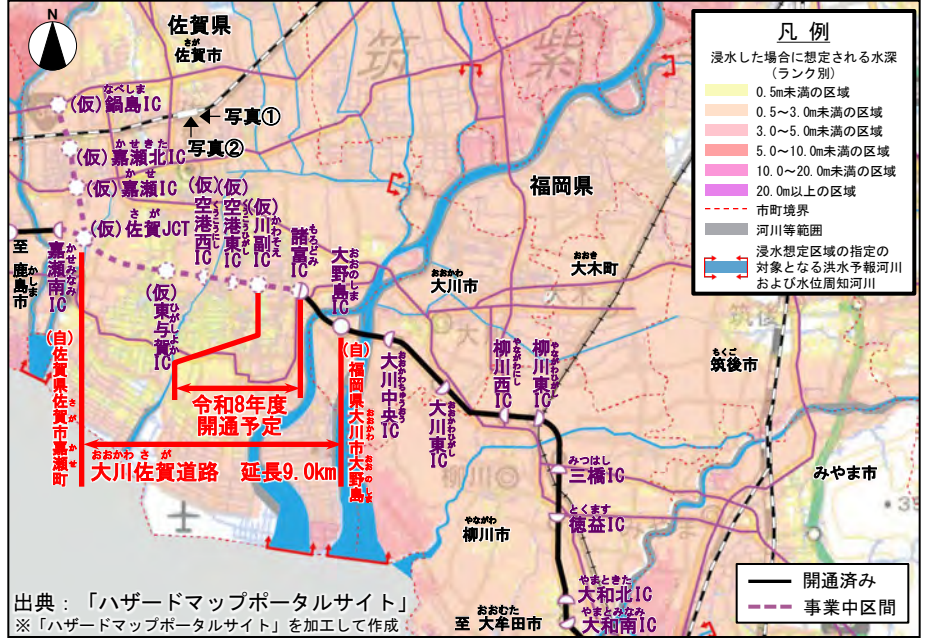


写真② JR佐賀駅前

◆浸水時横断イメージ図(諸富IC～(仮称)川副IC)



《路線位置図》



国道497号 伊万里道路【直轄】

- 国道497号伊万里道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、伊万里地域の幹線道路である国道202号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間	佐賀県伊万里市南波多町府招 ～同市東山代町長浜
延長	6.6km
全体事業費	429億円
R7補正	12.1億円(事業費)

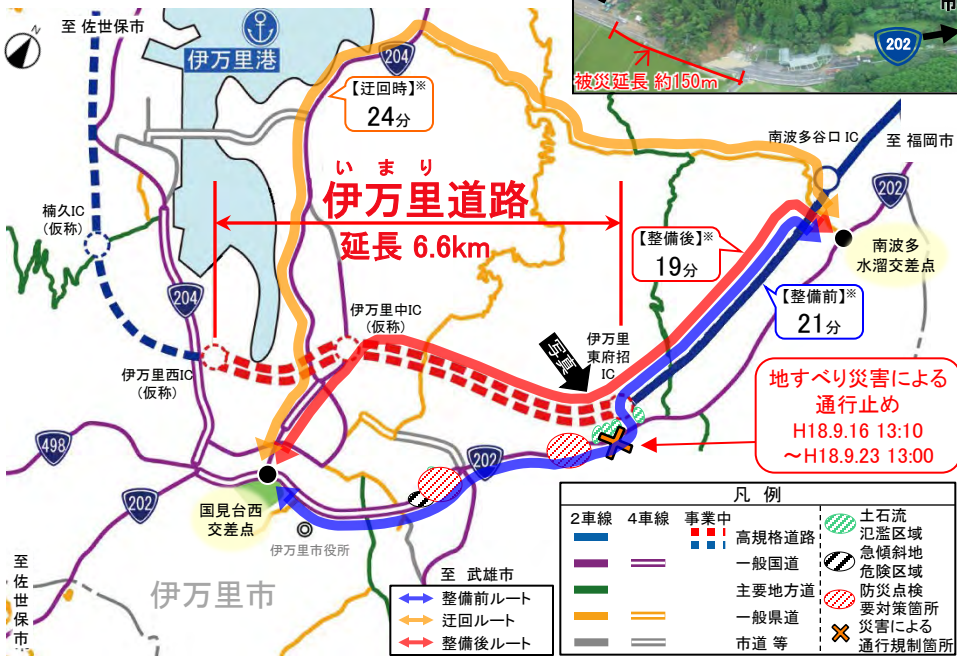
《路線位置図》



《整備効果》

- 並行する国道202号には、土石流氾濫区域、急傾斜地危険区域が存在しており、平成18年9月には大雨による大規模な地すべり災害により、7日間の全面通行止めが発生。
- 当該道路の整備により、国道202号の代替路を確保し、災害時における信頼性の高い道路ネットワークの機能強化を推進。

《地すべり災害被災状況写真(H18.9)》



※ 伊万里道路は設計速度(80km/h)、その他の道路はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出

佐賀34号 維持管理(橋梁流失)【直轄】

- 一般国道34号は、佐賀県鳥栖市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約140kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 通行止めが長期化する渡河部の橋梁流失等の災害リスクに対し、国道34号嘉瀬橋(下り)において、支承補強等の工事を実施し、道路構造物の流失防止対策を推進。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

橋梁名：嘉瀬橋(下り)
対策箇所：佐賀県佐賀市鍋島町地区
延長：518.8m
R7補正：1.6億円(事業費)

《現状》

《対策イメージ》



【全景】



【近景】



国道444号 佐賀福富道路【補助】

- 佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、国道444号の交通混雑の緩和や交通安全の確保を図るとともに、災害発生時の救急・救援物資の輸送機能の強化、医療施設へのアクセス性の向上などを目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、橋梁下部工、道路改良工を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間:佐賀県佐賀市嘉瀬町中原
～白石町福富下分

延長:10.5km
全体事業費:627億円
R7補正:7.6億円(事業費)

《現地状況写真》



《路線位置図》



《整備効果》

- 渋滞による高次医療施設への搬送の遅延が減少するとともに走行性向上による安全な搬送が期待される。
- 災害時における航空輸送施設に指定されている九州佐賀国際空港や防災航空センターへのアクセス性を強化し、迅速な救援・救助、復旧・供給活動を支援する。



三次救急救命センター
佐賀県医療センター好生館

▲佐賀県医療センター好生館HPより

航空輸送施設(指定)
九州佐賀国際空港、防災航空センター

▲佐賀県防災航空センター

国道57号 森山拡幅【直轄】

○国道57号森山拡幅は、島原半島と諫早市を結ぶ島原道路の一部を構成し、諫早市内及び周辺部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする道路。

○災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁床版工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県雲仙市愛野町乙
～諫早市長野町

延長：7.6km

全体事業費：649億円

R7補正：9.2億円(事業費)

《路線位置図》



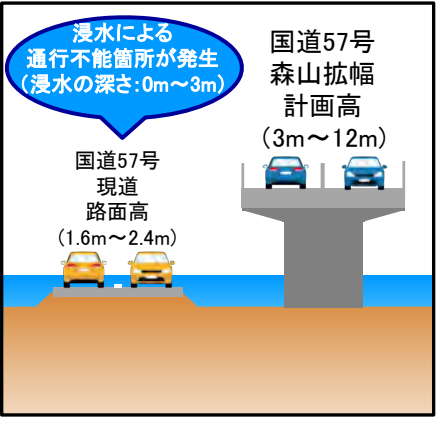
《整備効果》

○並行する国道57号は、洪水浸水想定区域に指定されている。
また、路面冠水による全面通行止めが過去に発生。
○森山拡幅の整備により、洪水浸水被害に強い緊急輸送道路として機能。

▼森山拡幅周辺の浸水想定区域



▼浸水被害時(イメージ)



写真①



▲大雨による国道57号の路面冠水状況

写真②



▲大雨による国道57号周辺地域の浸水状況

国道497号 松浦佐々道路【直轄】

- 国道497号松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、北松地域の唯一の幹線道路である一般国道204号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上・下部工工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間	長崎県松浦市志佐町 ～北松浦郡佐々町沖田免
延長	19.1km
全体事業費	1,130億円
R7補正	28.3億円(事業費)

《路線位置図》



《整備効果》

- 並行する国道204号は、過去に法面崩壊が発生
- 当該道路の整備により、国道204号の代替路を確保し、土砂災害に強い道路ネットワークを構築



国道204号法面崩壊の状況（提供：長崎県）

長崎34号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所は無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道34号 杭出津地区電線共同溝

《位置図》

《諸元等》

杭出津地区電線共同溝

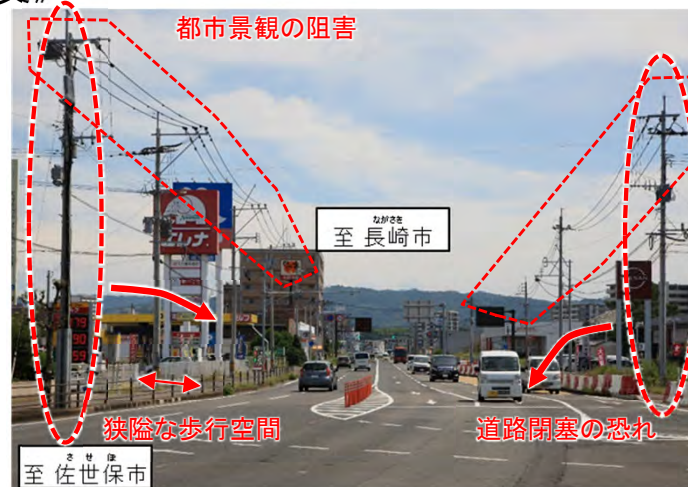
事業区間：長崎県大村市杭出津2丁目
～長崎県大村市水主町2丁目
延 長：1.2km
全体事業費：22億円
R7補正：1.8億円



《路線位置図》



《現地状況写真》



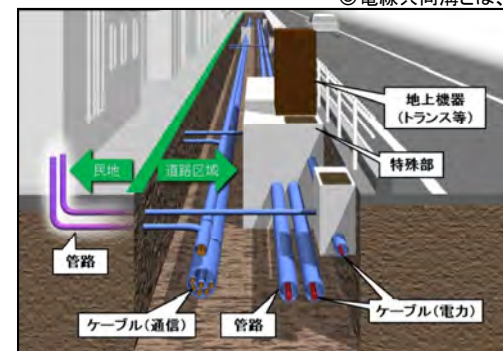
《整備効果》

○災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。

○歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



長崎35号 維持管理(老朽化対策 橋梁修繕)【直轄】

- 一般国道35号は、佐賀県武雄市を起点とし長崎県佐世保市に至る全長約35kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道35号佐世保市日宇地区において、支取替工等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

橋梁名：第一日宇橋
対策箇所：長崎県佐世保市日宇地区
延長：27.2m
R7補正：1.5億円(事業費)



《現状と対策イメージ》



支承の腐食



支取替



床版の損傷



断面修復

国道251号 出平有明バイパス【補助】

■国道251号出平有明バイパスは、^{いでひらありあけ}島原道路の一部を構成し、島原半島地域から九州横断自動車道や長崎空港へのアクセス向上を図るとともに、搬送時間短縮による救急医療体制の強化や島原半島地域と長崎・県央地域との連携強化、国道251号の危険箇所回避による災害時の代替路確保を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、道路改良や橋梁工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置图》



《諸元等》

事業区間：長崎県島原市出平町しまばら いでひらまち
～島原市有明町しまばら ありあけちよう

事業主体：長崎県

延長 : 3.4km

全体事業費：160億円

R 7 補 正 : 12.3億円(事業費)

《現地状況写真》



《整備効果》

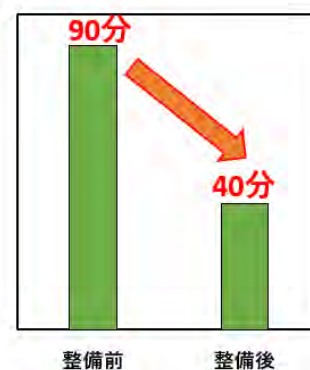
○島原半島地域から九州横断自動車道までの所要時間短縮や定時性確保による農業や観光などの地域産業の支援が図られる。

○島原半島地域から第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる。

○災害時の救急活動や緊急物資の円滑な輸送に寄与。

【時間短縮効果】

●島原道路全線開通(南島原市深江町～
諫早IC:約50km)により90分から40分に短縮



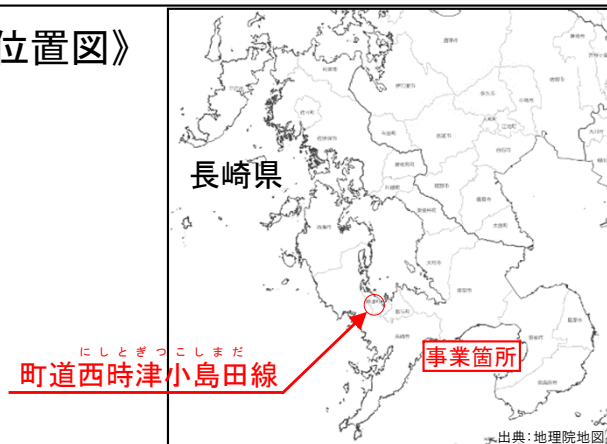
《平面图》



町道西時津小島田線 交通安全対策【補助】

○令和3年度通学路合同点検で抽出された道路管理者による対策必要箇所において、通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、町道西時津小島田線をバイパスとして整備することで、学校等が実施するソフト対策の強化と一体となった交通安全対策を推進。

《位置図》



《現地状況写真》



小学生が狭い歩行空間を通行する必要があるため危険

《長崎県時津町通学路緊急対策推進計画》 OR7補正:2億円(事業費)

《代表事例》

- 路線名:町道西時津小島田線
- 事業箇所:長崎県西彼杵郡時津町浜田郷
- 整備延長:L=0.68km
- 事業主体:長崎県時津町

対策内容

- 【学校・地元住民など】
- ・学校による安全教育
(内容の拡充)
- ・ボランティアによる見守り活動



- 【道路管理者】
- ・バイパス整備
- ・歩道整備



《横断図》

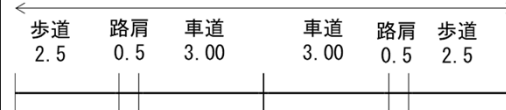
対策前(現道)

車道が狭く、歩行者が近い

4.50

対策後(バイパス)

12.00



国道57号 大津道路・大津熊本道路(大津西～熊本)・熊本環状連絡道路【直轄】

■国道57号大津道路・大津熊本道路・熊本環状連絡道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■物流・人流の速達性向上のため、補正予算の充当により、国道57号大津道路、熊本環状連絡道路において調査設計、大津熊本道路(大津西～合志)において改良工事、大津熊本道路(合志～熊本)において改良工事、橋梁下部工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与し、日本経済の成長につながる道路の整備を推進。

《位置図》

一般国道57号
大津道路
大津熊本道路(大津西～合志)
大津熊本道路(合志～熊本)
熊本環状連絡道路



《諸元等》

事業区間：まぐち おおづ まち たかおの 熊本県菊池郡大津町大字高尾野
しもすりがわまち ～熊本市北区下碓川町

延長：22.5km

（大津道路：4.8km
大津熊本道路（大津西～合志）：4.7km
大津熊本道路（合志～熊本）：9.1km
熊本環状連絡道路：3.9km

全体事業費：2,100億円

（大津道路：340億円
大津熊本道路（大津西～合志）：310億円
大津熊本道路（合志～熊本）：530億円
熊本環状連絡道路：920億円

R7補正：50.3億円（事業費）

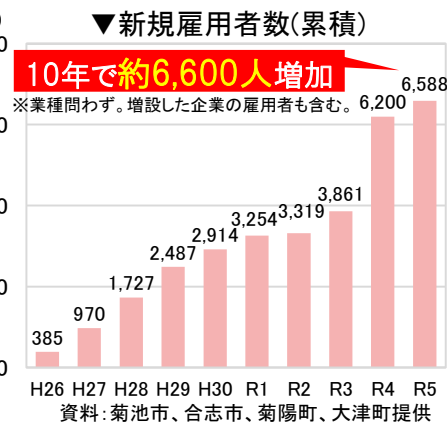
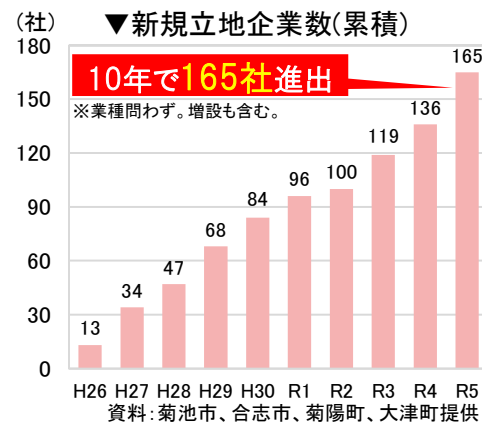
（大津道路：1.0億円
大津熊本道路（大津西～合志）：4.0億円
大津熊本道路（合志～熊本）：43.7億円
熊本環状連絡道路：1.6億円

《整備効果》

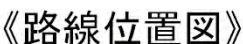
○大津道路、大津熊本道路、熊本環状連絡道路沿線地域※は製造品出荷額が県内第1位の工業地域であり、半導体関連工場や二輪四輪車関連工場等が集積。新たな工業団地の開発も進んでいる。

※: 菊池市、合志市、菊陽町、大津町

○広域道路ネットワーク整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、沿道地域の更なる産業発展、地域活性化に期待。



▼沿線への世界最大手半導体メーカーの進出(R6.2.24開所)



熊本57号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所の無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道57号 大津地区電線共同溝

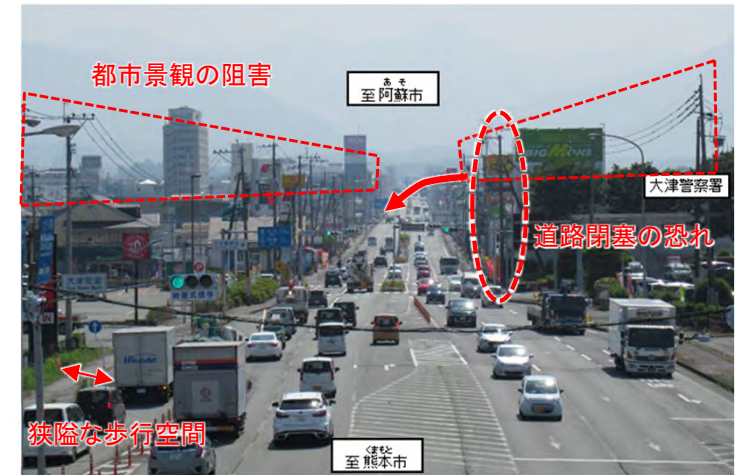
《位置図》

《諸元等》

事業区間：熊本県菊池郡大津町大津
～熊本県菊池郡大津町室

延長：3.8km
全体事業費：39億円
R7補正：1.5億円

《現地状況写真》



《整備効果》

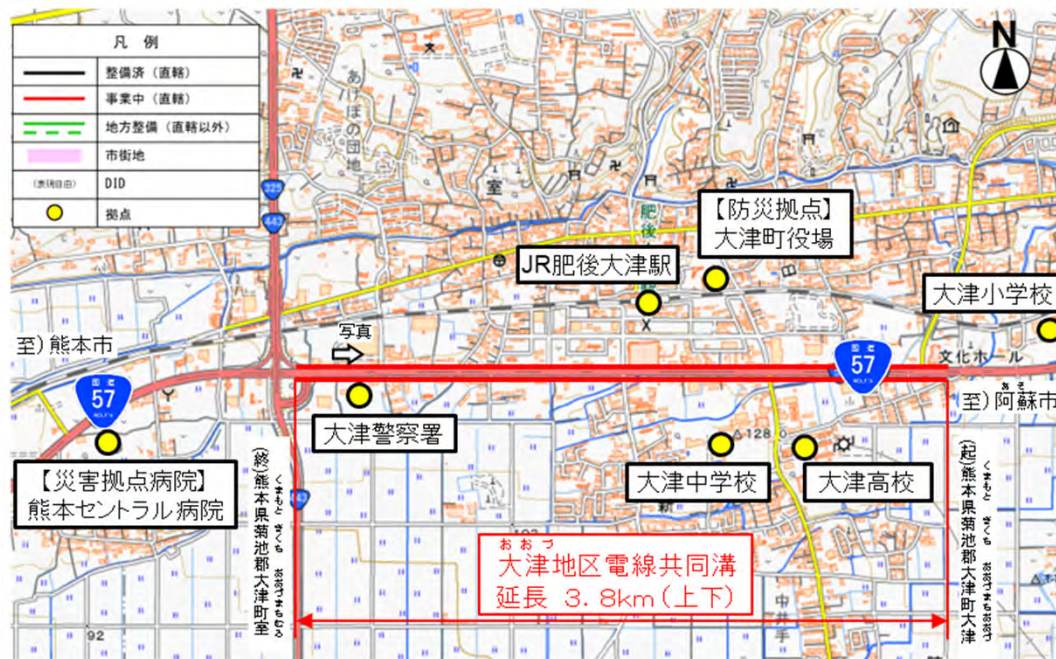
- 災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。
- 歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



《路線位置図》



熊本57号 維持管理(耐震補強)【直轄】

- 一般国道57号は、大分県大分市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約220kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 切迫する大規模地震に備えるため、補正予算の充当により、国道57号滝室橋において、橋脚補強工(RC巻立て)等の耐震補強工事を実施することで、道路橋梁等の耐震補強を推進。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

橋 梁 名 : 滝室橋
対策箇所 : 熊本県阿蘇市一の宮町坂梨地区
延 長 : 80.0m
R7補正 : 0.6億円(事業費)

《現状》



【全景】



【近景(橋脚)】

《対策イメージ》



【橋脚補強(RC巻立て)】

国道266号 大矢野道路【補助】

- 国道266号大矢野道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ熊本天草幹線道路の一部を構成し、天草地域と熊本都市圏間の「90分構想」の実現を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、橋梁下部工事、トンネル舗装工事、道路改良工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：熊本県上天草市大矢野町登立
～大矢野町上

延長：3.4km
全体事業費：170億円
R7補正：8.1億円(事業費)

《現地状況写真》



▲ 国道266号(現道)の渋滞状況



▲ 国道266号(現道)大雨による冠水

《平面図》



《対策イメージ》



《効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 交通量の分散による慢性的な交通渋滞の緩和が期待
- 水産物の輸送時間の短縮、定時性確保が図られ、海外販路の拡大が期待。
- 観光地へのアクセスが向上し、観光客の増加が期待。

■土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、第2次緊急輸送道路である主要地方道 宮原五木線 八代市・五木村工区の落石対策工を実施することで、道路法面・盛土対策を推進

《位置図》



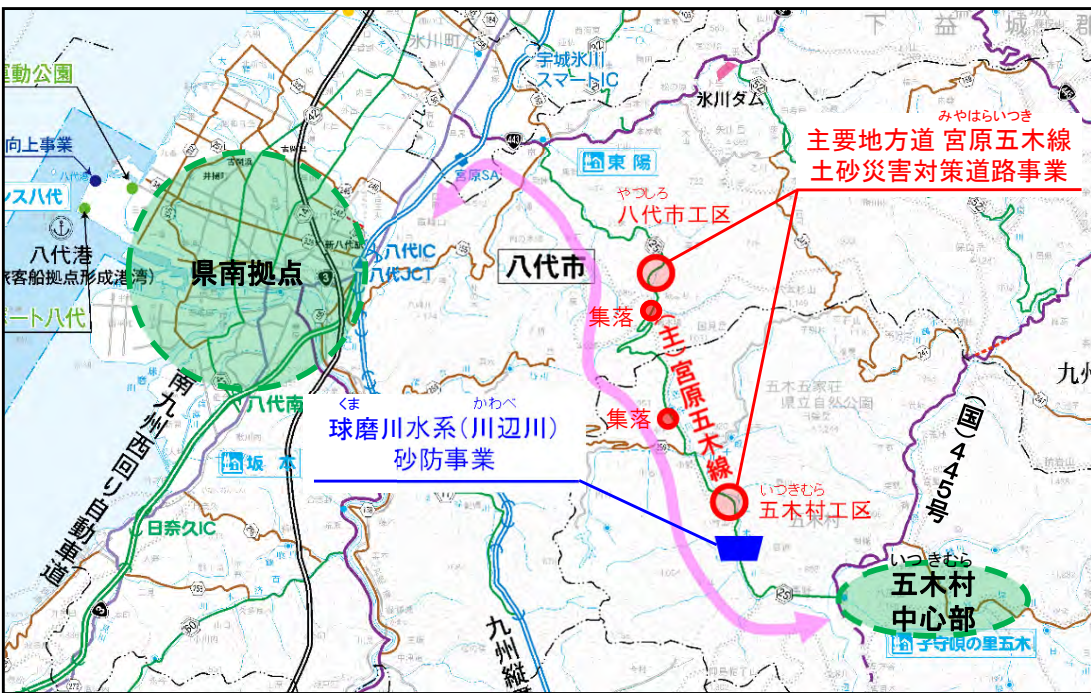
《諸元等》

事業箇所：	熊本県八代市東陽町、球磨郡五木村
延長	： 0.44 km
全体事業費	： 14.0 億円
R7補正	： 2.2 億円

《現地状況写真》



《平面図》



《対策工法》



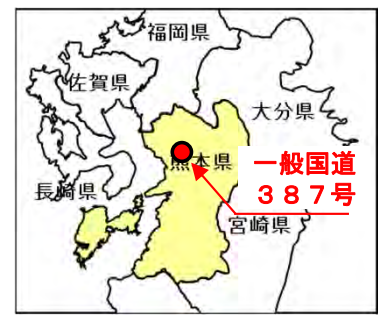
《整備効果》

○砂防事業と連携して土砂災害による通行止めや道路寸断による集落の孤立を防止し、安全な道路空間を確保する。

一般国道387号(御代志工区) 電線共同溝【補助】

■ 一般国道387号は、通学路に指定されているものの、通学者は狭い路肩部を通行している状況。安全かつ円滑な道路空間を形成し、歩行者の交通安全の確保のため、補正予算の充当により無電柱化を推進。

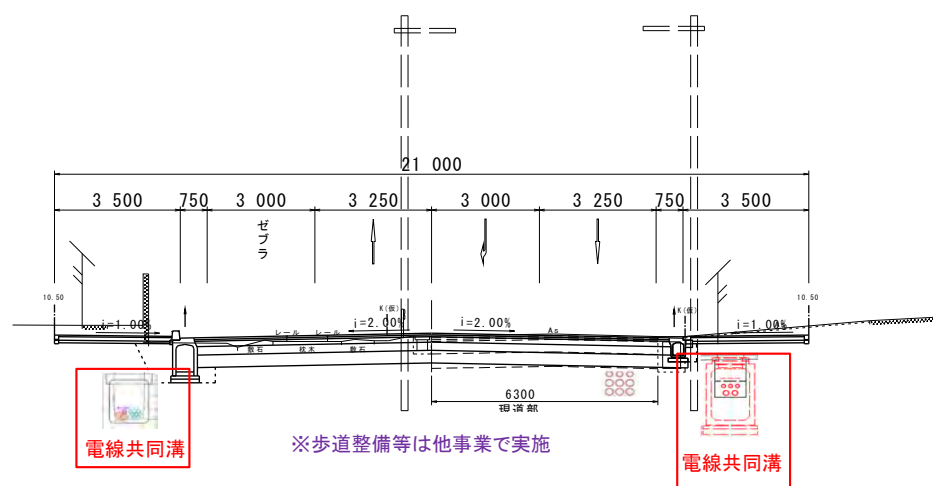
《位置図》



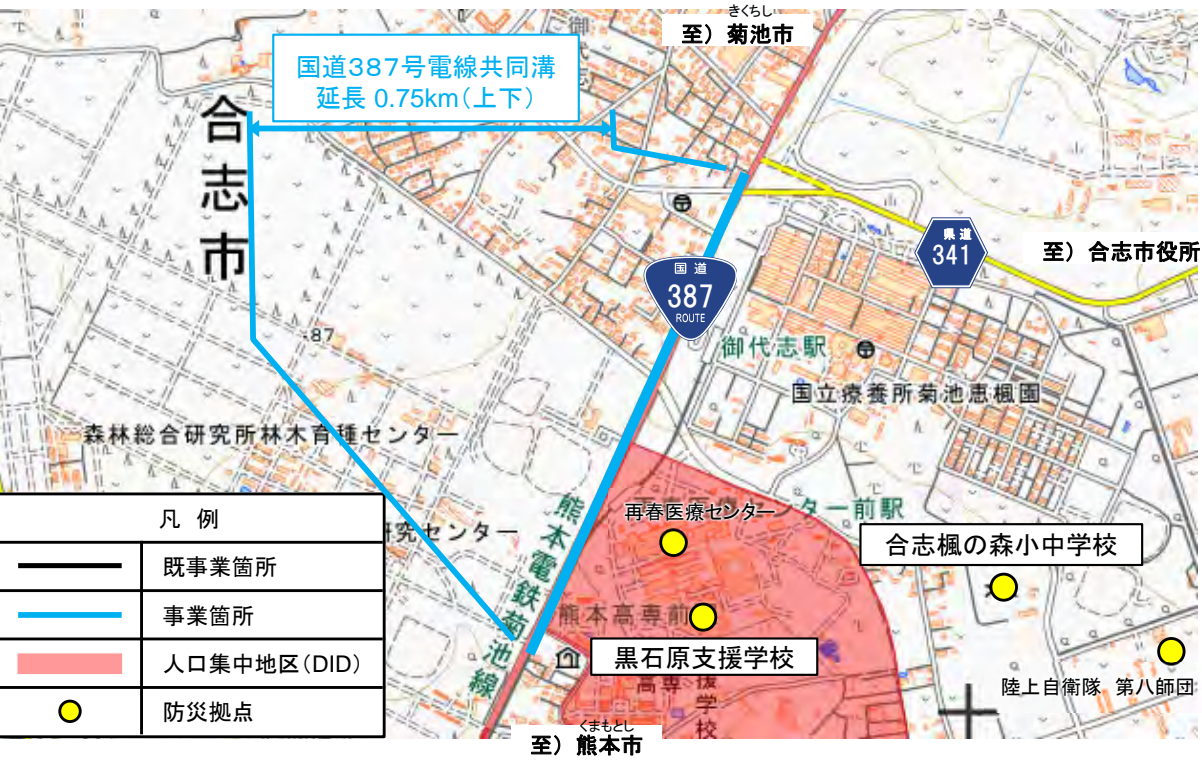
《諸元等》

事業区間 : 熊本県合志市
道路延長 : 0.75km
全体事業費 : 8.0億円
R7補正 : 2.0百万円(事業費)

《対策イメージ》



《平面図》



《現地状況写真》



《効果》

- 大規模災害時における電柱倒壊による道路閉塞回避
- 救急救命・復旧活動に必要な交通機能の確保

国道57号 竹田阿蘇道路【直轄】

- 国道57号竹田阿蘇道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

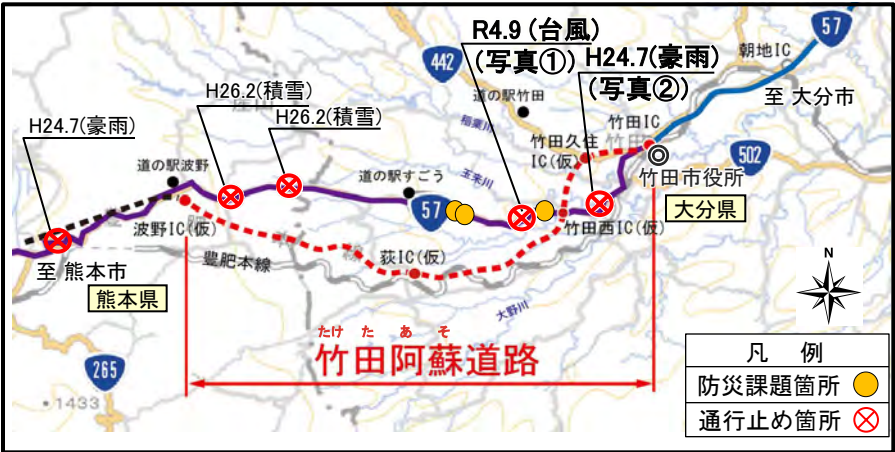
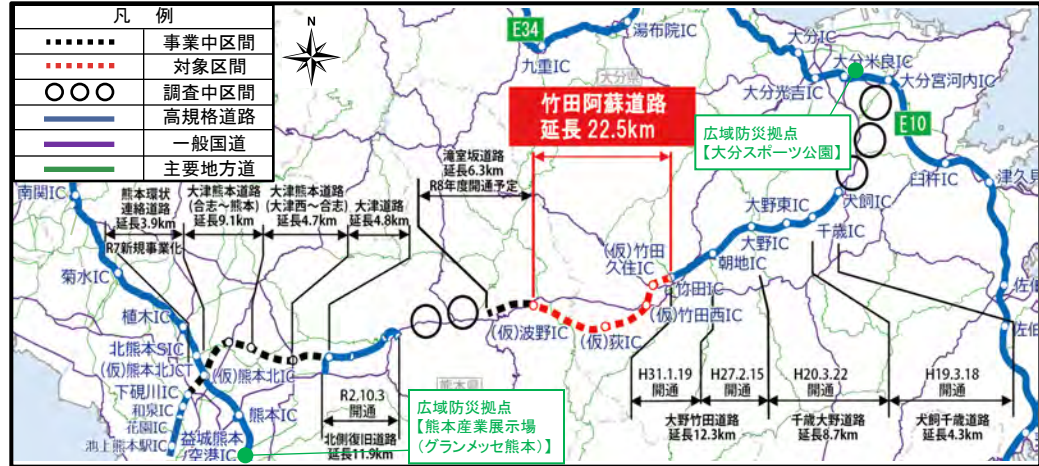
事業区間：大分県竹田市大字会々
～熊本県阿蘇市波野大字小地野

延長：22.5km
全体事業費：769億円
R7補正：15.3億円(事業費)
(うち熊本県 1.1億円
大分県14.2億円)

《整備効果》

○当該道路の整備により、並行する国道57号の防災課題箇所を回避する緊急輸送道路として機能。

《路線位置図》



▲国道57号の通行止め状況



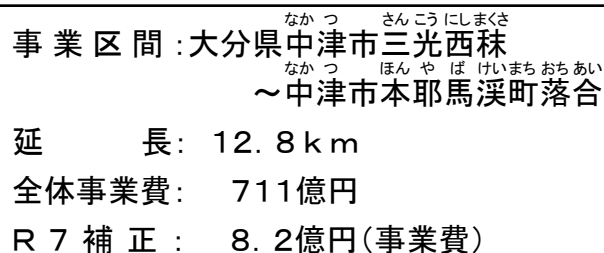
▲R4.9 台風14号の被災状況



▲H24.7 九州北部豪雨の被災状況

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《整備効果》

[illegible]

大分10号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所は無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道10号 おしの 鴛野 地区電線共同溝

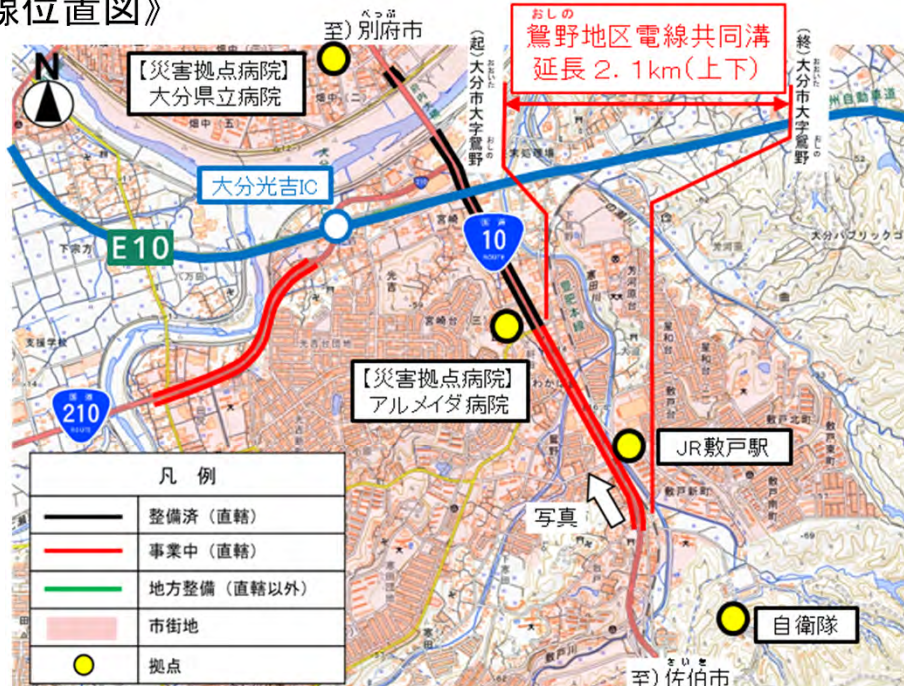
《位置図》

《諸元等》

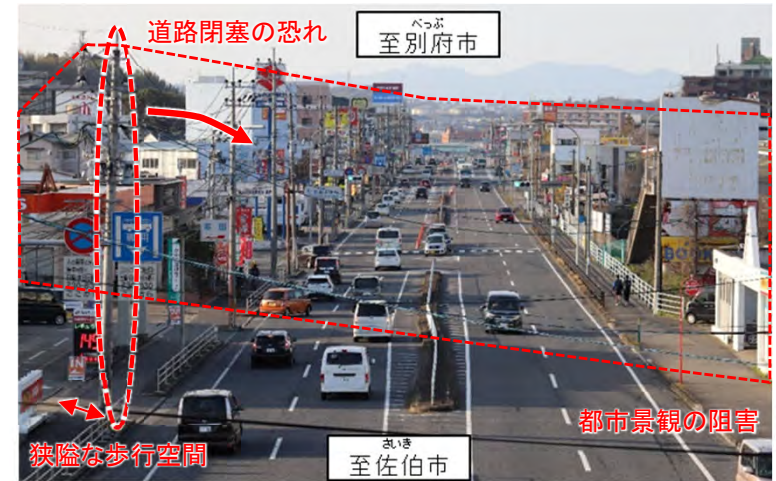
事業区間：おのいた おのいた おのの
大分県大分市大字鴛野
～大分県大分市大字鴛野
延長：2.1km
全体事業費：24億円
R7補正：2.2億円



《路線位置図》



《現地状況写真》



《整備効果》

○災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。

○歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



大分57号 維持管理(法面・盛土対策)【直轄】

- 一般国道57号は、大分県大分市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約220kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道57号豊後大野市千歳地区において、排水ボーリング及び補強材挿入等の法面对策工事を実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図る。

《位置図》



《平面図》



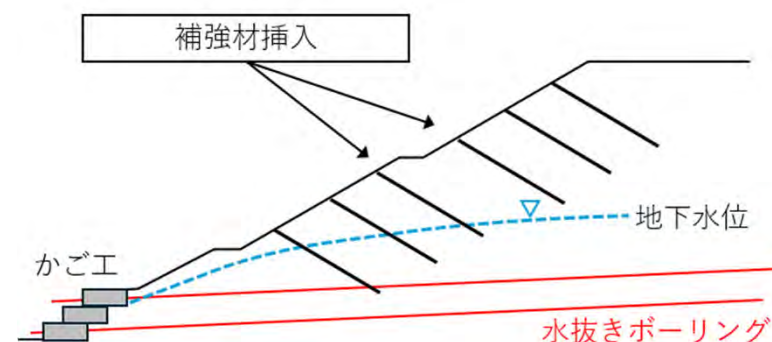
《諸元等》

事業区間 : 大分県豊後大野市千歳
延長 : 約0.1km
R7補正 : 1.43億円(事業費)

《現地現状写真》



《対策イメージ》



国道212号 日田山国道路【補助】

■国道212号日田山国道路は、中津日田道路の一部を構成し、国道212号の災害による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、生活圏の連携強化、大分自動車道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県中津市山国町守実
～日田市大字三和

延長：8.8km

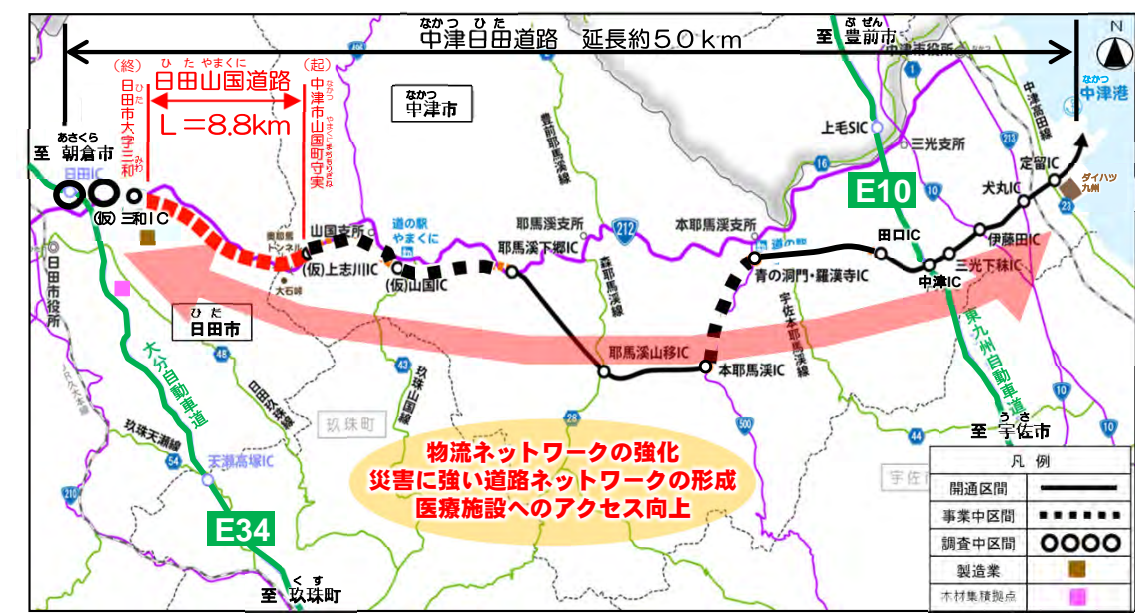
全体事業費：408.0億円

R7補正：44.7億円(事業費)

《現地状況写真》



《路線位置図》



《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 中津市・日田市から第3次救急医療施設（別府・大分・北九州・久留米）へのアクセス向上に寄与



国道218号 五ヶ瀬高千穂道路【直轄】

- 国道218号五ヶ瀬高千穂道路は、九州横断自動車道延岡線の一部を構成し、国道218号の防災課題箇所及び線形不良箇所を回避することにより、走行性、安全性の向上や、災害時の救急活動等の防災機能向上に寄与する道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

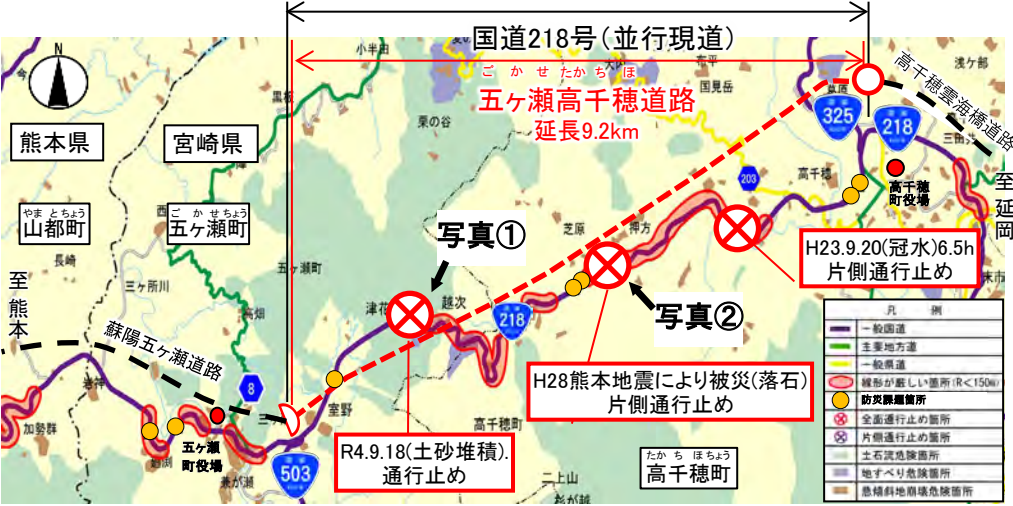
事業区間	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町 ～西臼杵郡高千穂町
延長	9.2km
全体事業費	559億円
R7補正	17.9億円(事業費)

《路線位置図》



《整備効果》

- 当該道路の整備により、国道218号の線形不良箇所(60箇所)や防災課題箇所(5箇所)等を回避する緊急輸送道路として機能し、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲R4台風14号 国道218号



▲H28熊本地震 国道218号

国道220号 日南・志布志道路、油津・夏井道路、南郷奈留道路【直轄】

■国道220号日南・志布志道路、油津・夏井道路、南郷奈留道路は、地域観光振興及び、木材輸送などの産業活動、医療活動を支援し、並行する国道220号の線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避するとともに、災害時の救助活動等にも機能する安全で円滑な高速ネットワークの形成を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道220号日南・志布志道路において改良工事、橋梁下部工工事、油津・夏井道路において改良工事、橋梁上部・下部工工事、南郷奈留道路において調査設計を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《路線位置図》

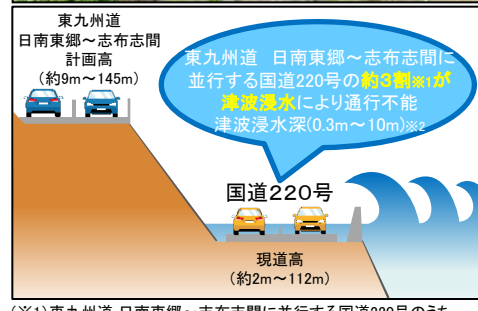


《諸元等》

事業区間	宮崎県日南市大字東弁分 ～鹿児島県志布志市志布志町志布志
延長	40.7km 日南・志布志道路: 6.9km(うち宮崎県: 3.2km、鹿児島県: 3.7km)、 油津・夏井道路: 20.5km(うち宮崎県: 16.1km、鹿児島県: 4.4km)、 南郷奈留道路: 13.3km
全体事業費	1,970億円 日南・志布志道路: 549億円(うち宮崎県: 305億円、鹿児島県: 244億円)、 油津・夏井道路: 771億円(うち宮崎県: 677億円、鹿児島県: 94億円)、 南郷奈留道路: 650億円
R7補正	48.6億円(事業費) 日南・志布志道路: 19.2億円(うち宮崎県: 14.5億円、鹿児島県: 4.7億円)、 油津・夏井道路: 28.4億円(うち宮崎県: 17.8億円、鹿児島県: 10.6億円)、 南郷奈留道路: 1.0億円

《整備効果》

- 並行する国道220号は、南海トラフ巨大地震に伴う津波による浸水想定路線。これまでに、法面崩壊や冠水による全面通行止めが発生。
- 当該道路の整備により、津波に対して十分な高さを確保し、大規模災害時における緊急輸送道路として機能することで、道路ネットワークの機能強化を推進。



(※1) 東九州道 日南東郷～志布志間に並行する国道220号のうち、最大津波浸水深(宮崎県、鹿児島県推定)と現道高を比較し、最大津波浸水深より低い区間の延長割合
 (※2) 出典: 県としての新たな「津波浸水想定」の設定について【宮崎県】鹿児島県津波浸水想定の設定について【鹿児島県】

宮崎10号 維持管理(老朽化対策 附属物修繕)【直轄】

■一般国道10号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る延長約500kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

■予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、一般国道10号延岡河川国道事務所管内において、道路標識等の整備を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 宮崎県延岡市～日向市
(延岡河川国道事務所管内)
延長 : 約64km
R7補正 : 0.3億円(事業費)

《現地状況写真》

全景



近景(起点側)



近景(終点側)



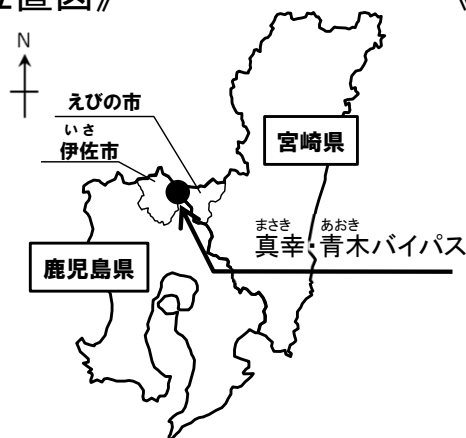
《対策イメージ》



■国道447号真幸・青木バイパスは、九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道を結ぶ路線の狭隘区間解消を目的とした県境を跨ぐ道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、道路改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《諸元等》



事業区間 : 宮崎県えびの市^{つらにて}内^{いさ}堅^{おおち}～^{あおき}
鹿児島県伊佐市大^{いさ}口^{おおち}青^{あお}木^き

延長：5.0km

(宮崎県3.2km、鹿児島県1.8km)

全体事業費：272億円

(宮崎県205億円、鹿児島県67億円)

R7 補正：8.0億円(事業費)

(宮崎県8.0億円、鹿児島県0億円)

《現地状況写真》

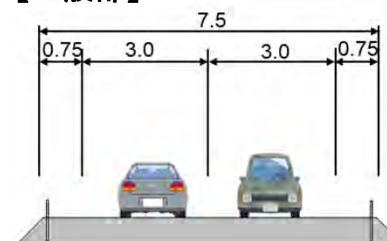


凍結による脱輪

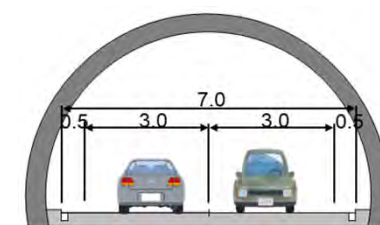


幅員狹小・線形不良

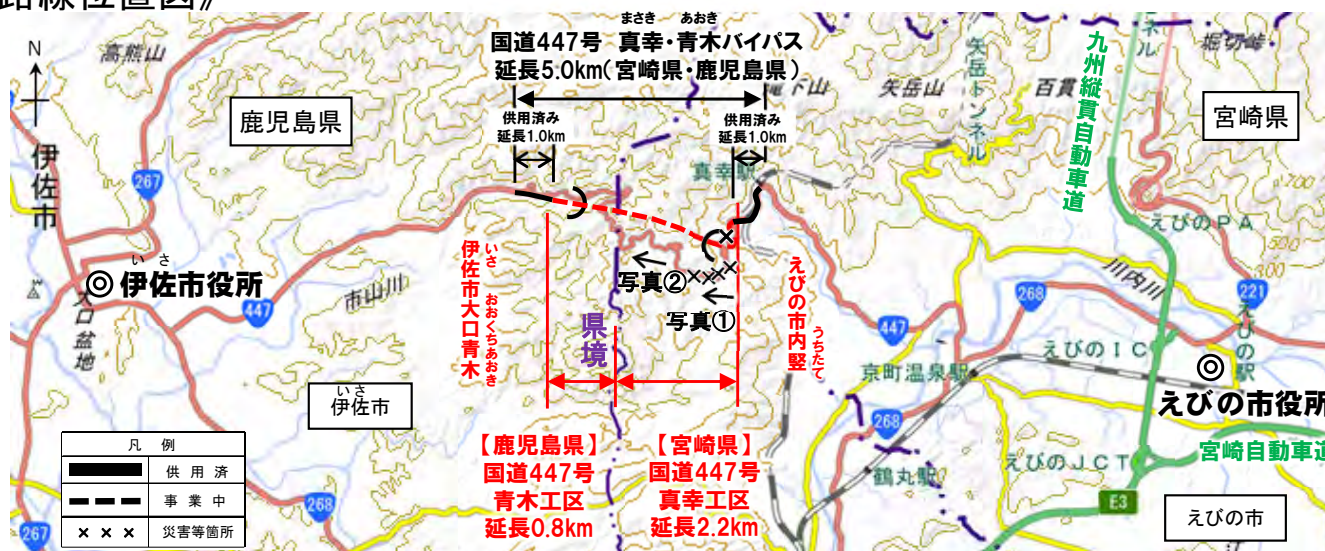
【一般部】



【トンネル部】

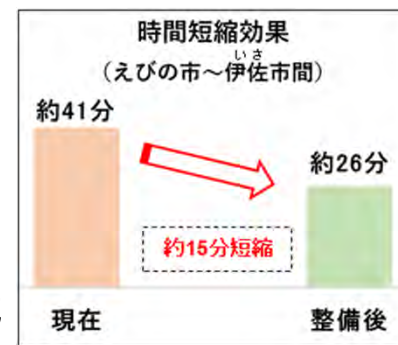


《路線位置図》



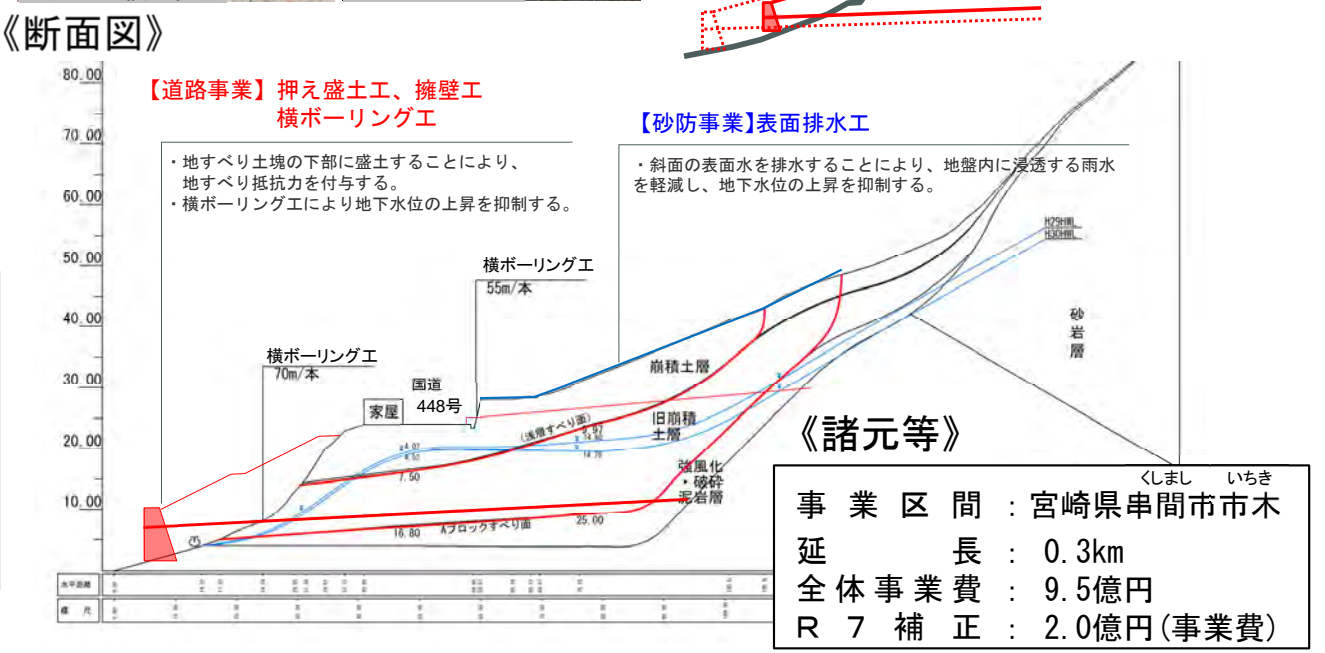
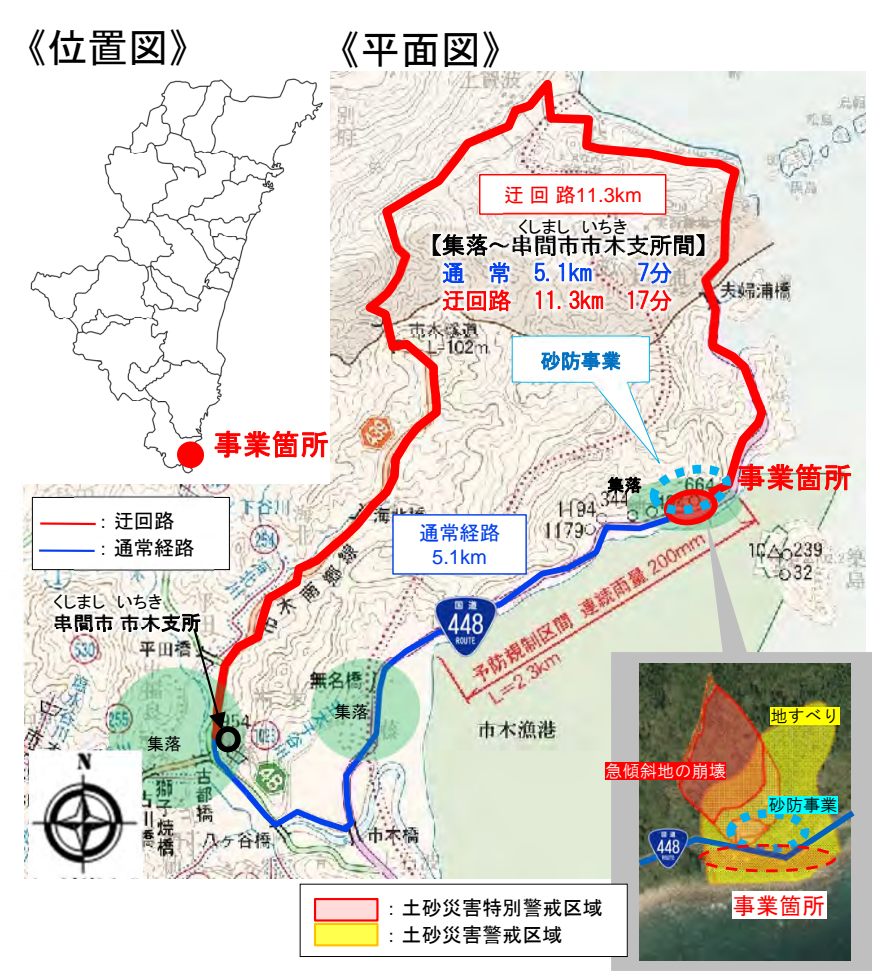
《整備効果》

- 宮崎県えびの市から鹿児島県伊佐市まで、約15分の時間短縮。
- 災害による通行止めが発生(R元～R5:5件)していることから、道路整備で通行止回数^{いす}の減少が期待できる。



国道448号(磯平工区) 土砂災害対策道路事業【補助】

- 国道448号は、第二次緊急輸送道路に指定されており、災害時に避難・救助・物資供給等の応急活動を支える重要な道路。
- 当該道路は地すべりの影響で擁壁の変状や路面のクラック等が見られ、道路が寸断されると広域迂回が発生するため、早急な対策が必要。
- 災害による道路ネットワークの寸断を防止するため、補正予算の充当により、国道448号の工事（押え盛土工等）を実施することで、道路法面・盛土対策を推進。



- ### 《効果》
- ・ 砂防事業との連携により、道路事業における擁壁工および押え盛土工の規模を縮小することが可能となり、コスト縮減が図られる。
 - ・ 脆弱箇所が解消されることにより、緊急輸送道路としての安全な交通の確保が可能となる。
- ### 《諸元等》

事業区間：宮崎県串間市市木
延長：0.3km
全体事業費：9.5億円
R7補正：2.0億円(事業費)

国道3号 芦北出水道路【直轄】

■国道3号芦北出水道路は、^{あしきた いずみ}南九州西回り自動車道^{みなみきゅうしゅうにし}の一部を構成し、自然災害等による九州縦貫自動車道の通行止め時の代替機能の確保等を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上部工工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：熊本県葦北郡芦北町花岡
～鹿児島県出水市下知識町

延 長：29.6km

全体事業費：1,923億円

R7補正：31.8億円(事業費)
(うち熊本県 14.5億円、
鹿児島県 17.3億円)

《路線位置図》



《整備効果》

○南九州西回り自動車道と九州縦貫自動車道でダブルネットワークを形成することで、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲ 九州縦貫道と南九州道の概況図



▲ 写真①：九州縦貫道（人吉球磨SIC付近）
の積雪状況

■九州縦貫道通行止め時の南九州道の通行可能割合

19回(約4割)

九州縦貫道 : 通行止め
南九州西回り道 : 通行止め

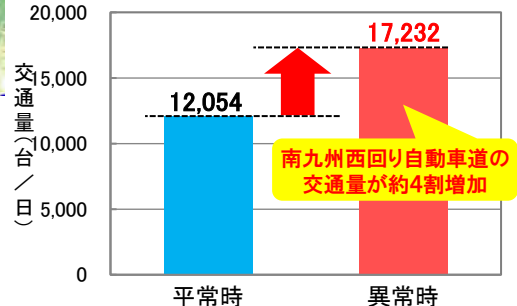
25回 (約6割)
九州縦貫道 : 通行止め
南九州西回り道 : 規制無し

**九州縦貫自動車道が通行止め時でも
南九州西回り自動車道は走行可能！**

資料：八代河川国道事務所調査
対象：八代IC～鹿児島ICの通行止め回数
（雨雪による九州縦貫道通行止め時）
期間：H27～R6

■九州縦貫道通行止め時の南九州道の交通量変化

断面①：南九州西回り自動車道(日奈久IC～田浦IC)



資料：八代河川国道事務所調査
期間：平常時九州縦貫道：規制無し
H28.1.12(火)2/2(火)の平均
異常時九州縦貫道：通行止め H28.1.19(火)

〔・八代JCT～人吉IC間：H28.1.19(火)0:00～1.20(水)12:10
 ・人吉IC～えびのIC間：H28.1.19(火)21:47～1.20(水)12:10

国道3号 阿久根川内道路【直轄】

- 国道3号阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州南西部の地域経済の活性化及び高速定時制の確保を目的とする道路。
- 物流・人流の速達性向上のため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与し、日本経済の成長につながる道路の整備を推進。

《位置図》



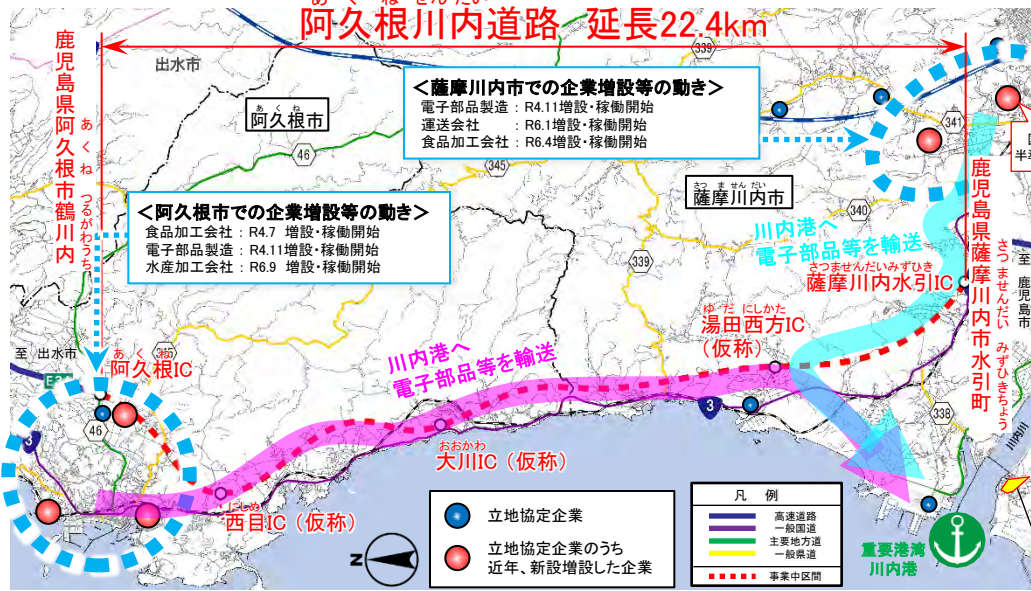
《諸元等》

事業区間	鹿児島県阿久根市鶴川内 ～薩摩川内市水引町
延長	22.4km
全体事業費	1,185億円
R7補正	10.5億円(事業費)

《整備効果》

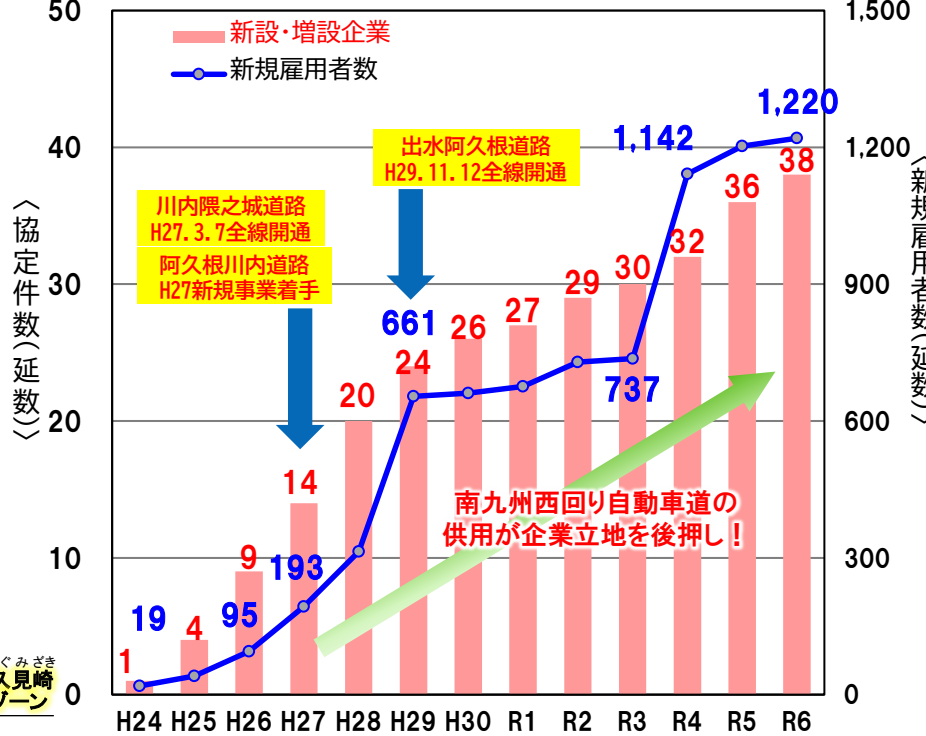
- 南九州西回り自動車道の開通に伴い国内大手の半導体会社などの企業進出が増加しており、新たな工業団地(川内港久見崎みらいゾーン)が建設される等、企業立地が進んでいる。
- 阿久根川内道路の整備により、地域におけるさらなる雇用の促進、経済活動の支援が期待。

《路線位置図》



▲ 阿久根市、薩摩川内市の立地協定(H24～R6)企業位置図

資料：薩摩川内市 提供資料
鹿児島県HP



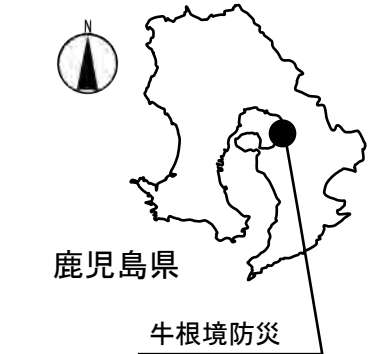
※R4年度以降に立地協定した8社の新規雇用者数は見込み人数
出典：薩摩川内市(R7.2.19時点)

▲ 薩摩川内市の「立地協定締結件数」及び「新規雇用者数」の推移

国道220号 牛根境防災【直轄】

- 国道220号牛根境防災は、異常気象時の事前通行規制や斜面崩壊等の災害による通行止めを回避し、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの整備・機能強化を推進。

《位置図》



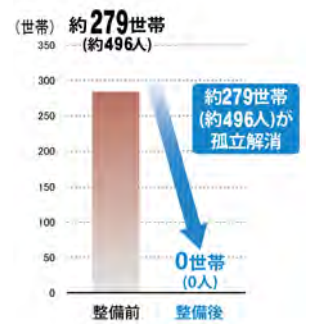
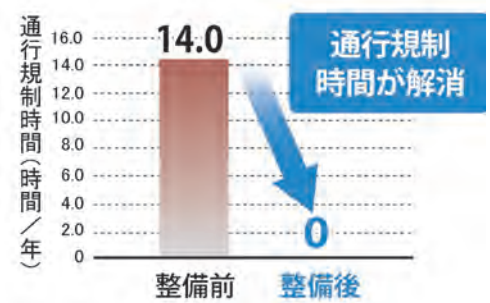
《諸元等》

事業区間：鹿児島県垂水市牛根境
～霧島市福山町

延長：4.5km
全体事業費：300億円
R7補正：6.7億円(事業費)

《整備効果》

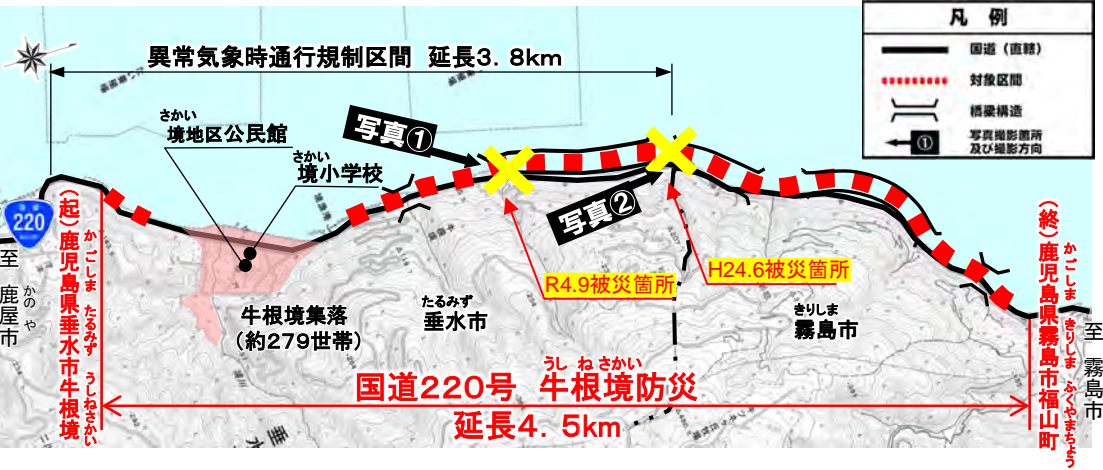
○当該道路の整備により、異常気象時の事前通行規制区間による孤立集落の発生を解消し、災害に強い道路ネットワークを構築。



▲通行規制時間
(国道220号牛根境防災4.5km)
出典：H27～R6の通行規制実績
(大隅河川国道事務所)

▲異常気象時に孤立する可能性がある世帯数
出典：令和2年国勢調査

《路線位置図》



▲ R4.9 国道220号への土砂流入



▲ H24.6 斜面の崩壊

鹿児島220号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に菱田小学校や病院、郵便局などの施設が立地し、児童・生徒の通学路に指定され、また、一般の方々に多く利用されているが、狭小な歩道幅員区間があるため、児童や歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、歩道の拡幅を行うことにより児童や歩行者の安全・安心な歩行空間の確保を行う事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、菱田歩道整備の改良工事を実施することで合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

○国道220号 菱田歩道整備

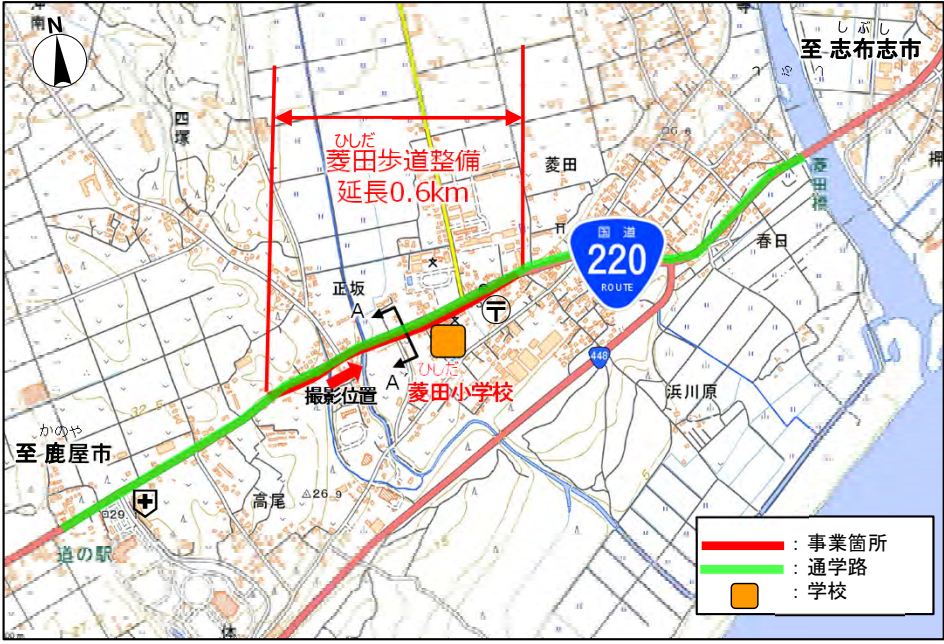
《位置図》



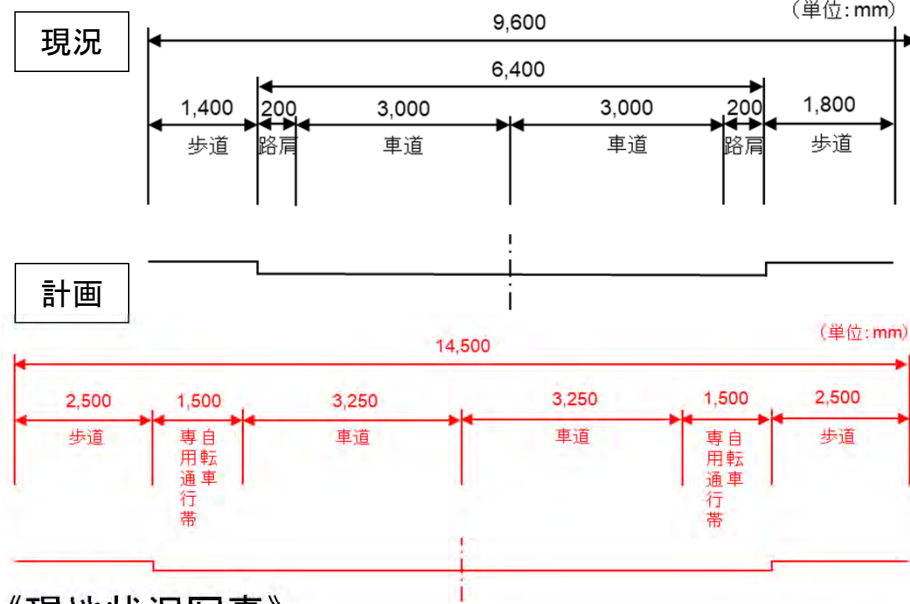
《諸元等》

事業区間：鹿児島県曽於郡大崎町菱田
延長：0.6km
R7補正：1.5億円

《平面図》



《計画横断図》



《現地状況写真》



鹿児島3号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所は無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道3号 伊敷脇田電線共同溝

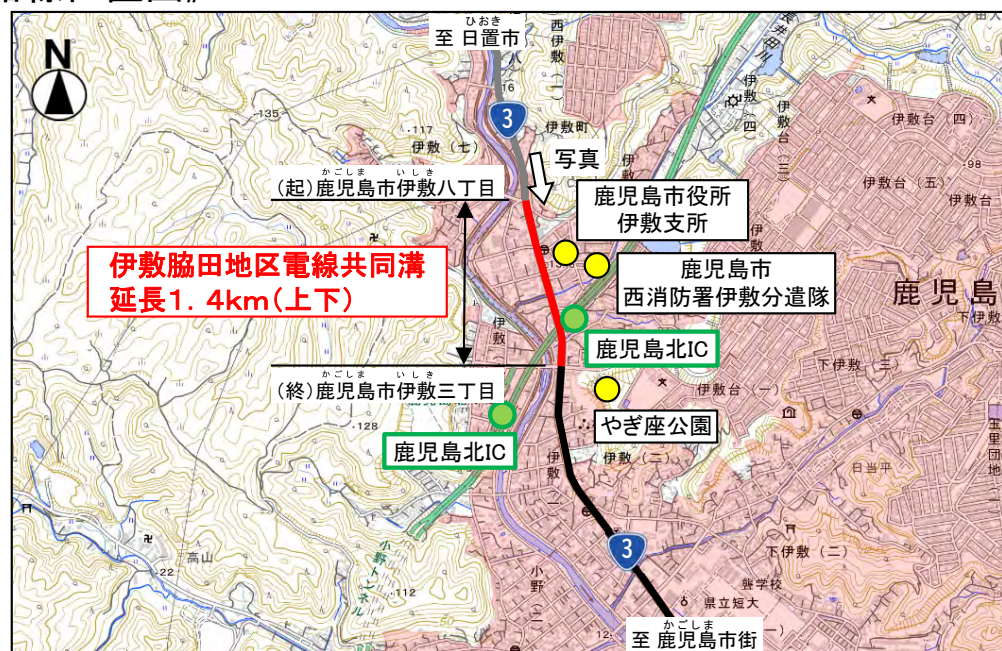
《位置図》

《諸元等》

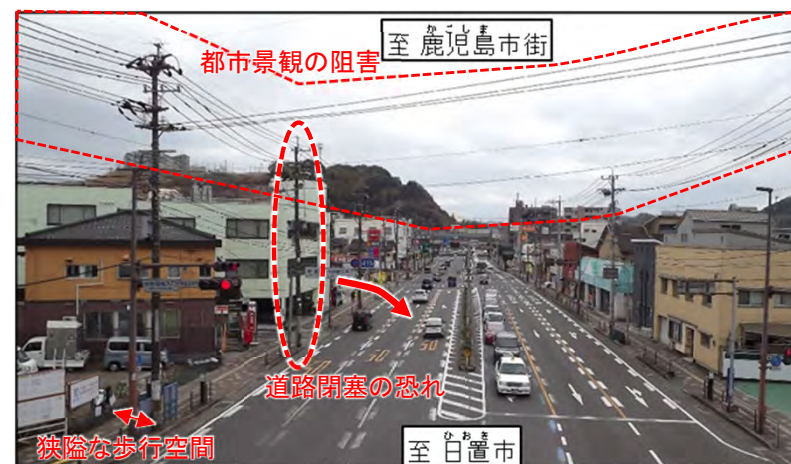
事業区間：鹿児島県鹿児島市伊敷八丁目
～鹿児島県鹿児島市伊敷三丁目
延長：1.4km
全体事業費：21億円
R7補正：0.7億円



《路線位置図》



《現地状況写真》



《整備効果》

○災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。

○歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

《対策イメージ》

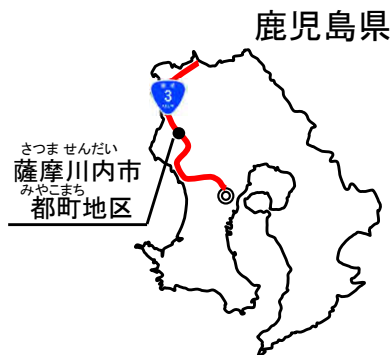
◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



鹿児島3号 維持管理(老朽化対策 舗装修繕)【直轄】

- 一般国道3号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約480kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道3号薩摩川内市都町地区において、セメント・コンクリート舗装工事等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 鹿児島県薩摩川内市都町地区

延長 : 約0.4km

R7補正 : 0.9億円(事業費)

《現状状況写真》



《対策イメージ》



国道 504号 阿久根高尾野道路【補助】

■国道504号阿久根高尾野道路は、北薩地域と鹿児島空港を結ぶ北薩横断道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道などと一体となった広域ネットワークを形成する道路であり、鹿児島空港へのアクセス向上による水産業の販路拡大や北薩地域の産業活性化に資する道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事・橋梁下部工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



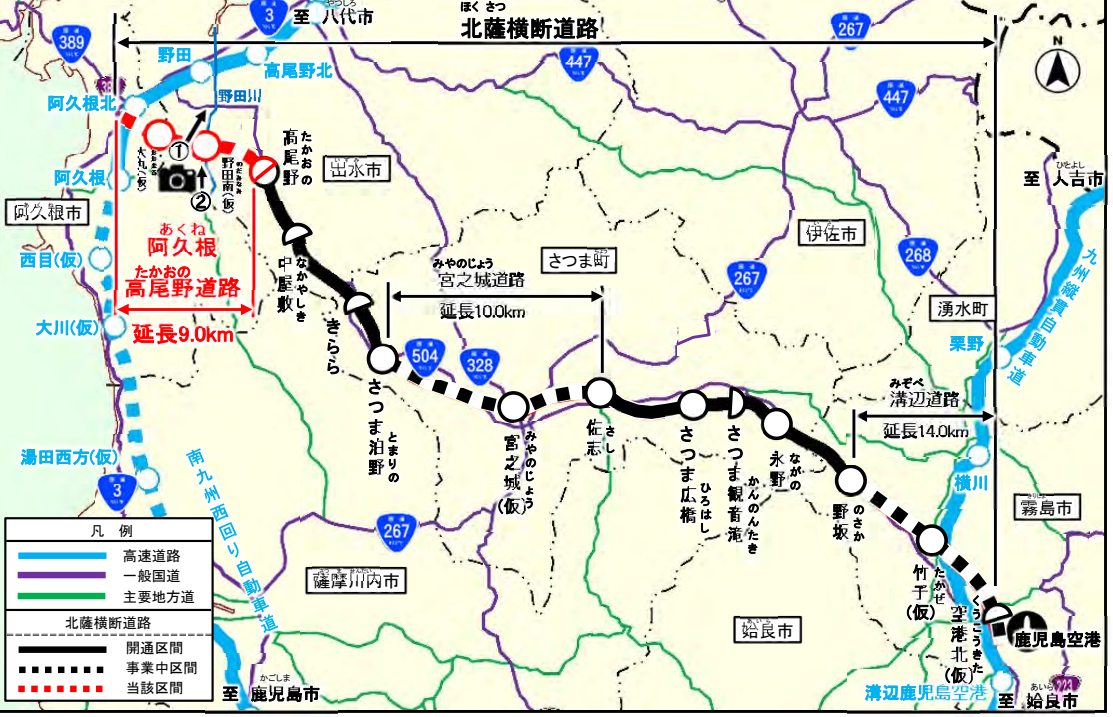
《諸元等》

事業区間	鹿児島県出水市高尾野町下高尾野 ～阿久根市折口
延長	9.0 km
全体事業費	125億円
R7補正	10.2億円（事業費）

《現地状況写真》

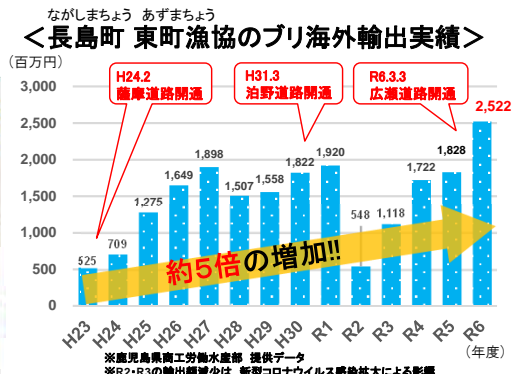


《路線位置図》



《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 鹿児島空港へのアクセス向上に伴い、これまで長距離輸送に頼ってきた特産品の水産物は、鮮度向上が図られ、国内外を問わず飛躍的な販路拡大が見込まれる。



東町漁業協同組合（長島町）が
稚魚から出荷まで一貫生産を行うブランド魚

●近年の主な輸出実績
アメリカ、シンガポール、中東、
ベルギー、イギリス、スイス、
イタリア、スペイン、オーストラリア、
香港、台湾、中国 など

国道389号 黒之瀬戸大橋 道路メンテナンス事業【補助】

- 国道389号黒之瀬戸大橋は、阿久根市と長島町を結ぶ緊急輸送道路(第二次)の橋梁であり、1974年(橋令51年)の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態。(判定区分Ⅲ)
- 黒之瀬戸大橋は、鋼材・添接板の腐食や検査路の破断などの劣化が著しく進行していることから、補正予算の充当により新技術を活用した塗替塗装工等の修繕工事を推進することで、緊急輸送道路の機能強化や地域防災上の安全・安心の確保を図るとともに、予防保全型メンテナンスへの早期転換を図る。

《位置図》



《代表箇所》

- 事業箇所: 黒之瀬戸大橋(橋長: 502m)
- 架設年次: 1974年(昭和49年)
- 判定区分: Ⅲ(2022年点検)
- 路線名: 国道389号
- 所在地: 鹿児島県阿久根市・長島町

《長寿命化修繕計画》

- 計画の名称: 鹿児島県橋梁長寿命化修繕計画
- 事業主体: 鹿児島県
- OR7補正: 9.5億円(事業費)

《平面図》



《事業箇所(全景)》



《現地状況写真》



腐食状況(ハンドホール内部)



腐食状況(検査路)

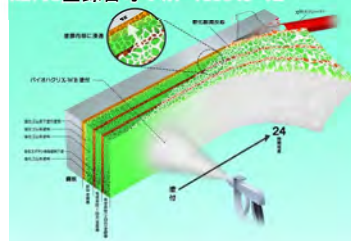
《対策イメージ》 新技術活用例(塗装塗替工)

従来技術

- △有害物質を含む塗膜ダストの飛散対策が不可欠
- △研削材の使用による有害廃棄物量の増加
- △電動工具を使用する場合、作業効率が悪く大面積の施工に不向き

新技術(水系塗膜はく離剤)

NETIS登録番号: KT-160043-VE



- ◎剥離剤塗布により軟化した塗膜のスクレーパーによる除去のみであるため、作業性が良い。
- ◎産業廃棄物は剥離剤を含んだ塗膜のみであり、少量となる。
- ◎塗膜回収のための特別な仮設備は不要
⇒ コスト削減効果: 150千円/橋